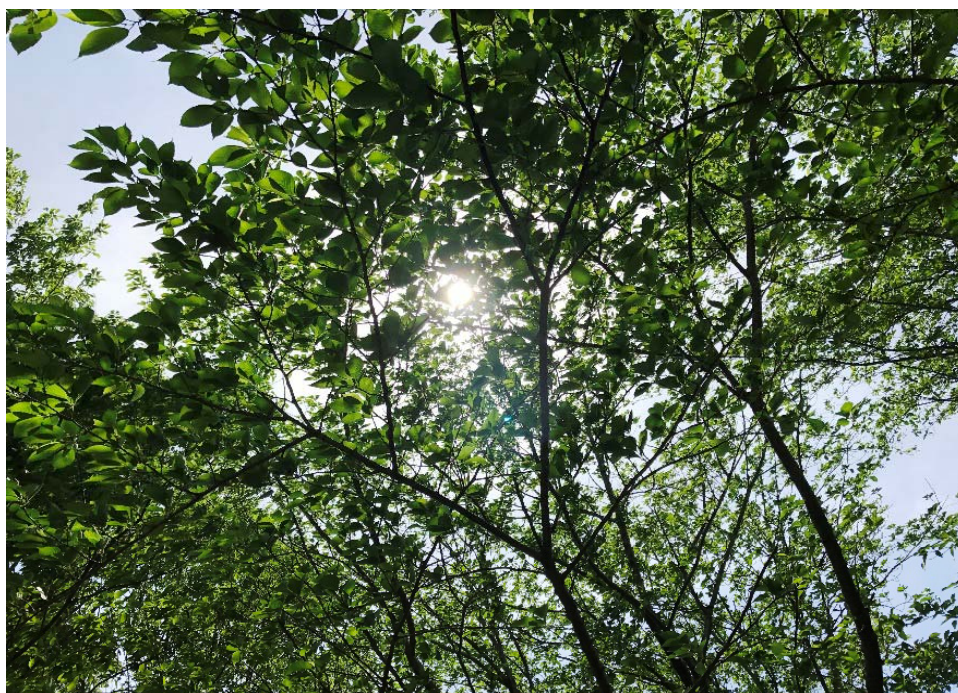


環境活動レポート

【運用期間:2016年 4月 1日~2017年 3月 31日】



発行:2017年 4月 1日

グリーン・シャワー株式会社

目 次

I. 組織の概要	・・・	P. 1、2
II. 実施体制	・・・	P. 3
III. 環境方針	・・・	P.4
IV. 環境目標	・・・	P.5
V. 環境活動計画	・・・	P. 6
VI. 環境目標の実績	・・・	P. 7
VII. 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容	・・・	P. 8
VIII. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	・・・	P. 9
IX. 代表者による総合評価と見直し結果	・・・	P. 10

I 組織の概要

1、事業所名及び代表者名

グリーン・シャワー株式会社
代表取締役社長： 落合 弘子

2、所在地

静岡市葵区南沼上一丁目3番22号

3、会社履歴

法人設立 1974年5月
資本金 1000万円
事業年度 当年10月～翌年9月

1974年 5月:設立
1976年 9月:産業廃棄物収集運搬事業参入
2007年12月:積替え、保管許可取得
2010年 5月:電子マニフェスト導入

4、環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者： 常務取締役 石垣 一正
担当者 : 同上
連絡先 TEL: 054-262-6557
FAX: 054-262-9010
E-mail: info@verde21.co.jp

5、事業活動

・産業廃棄物収集・運搬及びしゅんせつ工事

種別	許可番号	許可期限
静岡市産業廃棄物収集運搬業	06211041336	2016.8. 5～2021.8. 4
静岡県産業廃棄物収集運搬業	第02202041336号	2016.8. 5～2021.8. 4
一般建設業許可 土木工事	般-27 第20234 号	2015.6.17～2020.6.16
とび・土工工事	〃	〃
しゅんせつ工事	〃	〃

6、事業の規模(事業年度:当年10月～翌年9月)

	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
売上高	百万円	98	93	104	
産廃収集・運搬処理実績	t	1680.3	672.2	1104	
しゅんせつ工事	件	4	4	5	
とび・土工工事	件	8	7	0	
従業員数	人	11	11	11	
延床面積	m ²	61.05	61.05	61.05	

処理実績【2016年度処理実績(10月～翌年9月)】

処理方法等	廃棄物等種類	処理量(t)	
収集運搬	産業廃棄物	汚泥	1086.3
		がれき類	13.8
		廃油と汚泥の混合	3.4
		廃酸	0.5

7、産業廃棄物の種類
 <許可品目の総括表>

NO	産業廃棄物収集運搬業			許可品目											
	都道府県	許可NO	許可年月日 及び 有効期限	汚泥	廃油	廃プラ 類	紙 くず	木 くず	繊維 くず	金属 くず	ガラ スコン クリー ト	陶磁 器く ず	廃酸	廃ア ルカリ	動植 物性 残渣
1	静岡市	06211041336	平成28年8月5日 平成33年8月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	静岡県	第02201041336号	平成28年8月5日 平成33年8月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

8、認証・登録の対象範囲

全組織及び全事業活動
 別記「実施体制図」参照

9、保有設備

大型汚泥吸引車（産廃） 2台
 4トン汚泥吸引車（産廃） 2台
 2トンダンプ車（産廃） 1台
 3トンダンプ車（産廃） 1台
 軽四輪車（産廃） 2台
 4トン高压洗浄車 2台

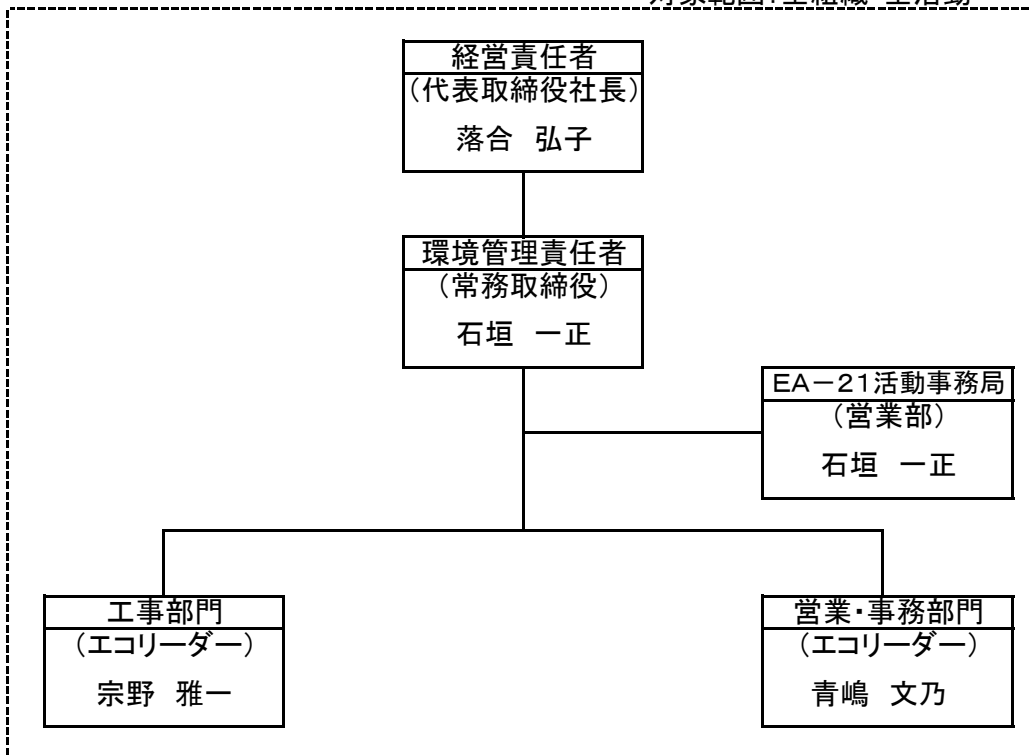
10、積替え、保管施設

面積 28.45m²
 種類 汚泥
 保管上限 9.2t
 積み上げ高さ —

Ⅱ 実施体制

2017年4月1日現在

対象範囲：全組織・全活動



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

Ⅲ 環境方針

グリーン・シャワー株式会社 環境方針

[環境経営理念]

私たちグリーン・シャワー株式会社は失われた自然を少しでも取り戻していく事を
与えられた仕事の中で取り組み、努力して行きます。

[基本方針]

私たちは、産業廃棄物の収集・運搬、給水管・排水管清掃、浚渫工事、土木工事を通じて
環境保全と汚染の予防に努めます。

1. 培った技術・知識を持って環境保全活動に還元します。
 - 1) 省エネルギー・省施工を推進し、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
 - 2) 廃棄物のリサイクル率向上を目指し、事業者に対して適正処理の推奨をします。
 - 3) 総排水量を抑制しながら水環境を整備して行きます。
2. 安全・快適な地域社会づくりに貢献します。
 - 1) 事務用品、備品はグリーン購入を心がけます。
 - 2) 快適な衛生空間を築けるように無水トイレの普及に努めます。
 - 3) 不幸な転倒事故を減らす為に、転倒防止対策を啓発して行きます。
3. 法規制等の遵守
環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します。
4. 環境コミュニケーションの実施
全員参加で環境活動に取り組みながら、地域社会と歩んで行きます。

全従業員がこの環境方針並びに必要な事項を周知して皆で取り組みをします。

制定日 2015年 12月 1日
グリーン・シャワー株式会社
代表取締役社長 落合 弘子 印

IV 環境目標

2014年度環境負荷の実績

項目		単位	2014年度	2015年度	2016年度
			4月～3月	4月～3月	4月～3月
二酸化炭素		kg-CO ₂	74,300	68,123	66,801
内訳	購入電力	kWh	10,497	10,610	10,313
	ガソリン	L	6,238	5,919	5,744
	軽油	L	20,420	18,387	16,409
	LPG	kg	281	228	187
受託した産業廃棄物処理量	収集運搬量	t	1,680	672	1,111
事業所一般廃棄物量		t	—	0.017	0.047
" 産業廃棄物量		t	9.92	5.06	1.75
総排水量		m ³	350	337	301

短期・中期環境目標

購入電力二酸化炭素排出係数 中部電力(H2014年度)の「0.513kg-CO₂/kWh」

項目		単位	基準年度 (2014年度)	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素		kg-CO ₂	74,300	-2%	-3%	-4%
内訳	購入電力	kWh	10,497	-2%	-3%	-4%
	ガソリン	L	6,238	-2%	-3%	-4%
	軽油	L	20,420	-2%	-3%	-4%
	LPG	kg	281	-2%	-3%	-4%
産業廃棄物運搬量		t	1,680	+2%	+3%	+4%
事業所排出一般廃棄物量			—	データ取り	-2%	-3%
" 産業廃棄物量		t	9.92	データ取り		
水使用量		m ³	350	-2%	-3%	-4%
グリーン購入の推進		円	—	12,913	41,165	—
排出事業者への適正処理推奨		件	—	2	3	4

* グリーン購入の活動は定性目標とする

V 環境活動計画

目的	区分	項目	責任者	活動項目
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	青嶋	①消灯の徹底(都度チェックする)
		空調	青嶋	①温度設定夏28℃ 冬20℃
				②クールビズ、ウォームビズ
				③フィルター定期清掃
				④使用していない部屋の空調停止
				⑤遮光対策
				⑥断熱化対策
	⑦新規空調設備への代替え、及び導入			
	設備 その他	山本	①不使用時メイン電源OFF	
ガソリン・ 軽油	乗用車 トラック 発電機	石垣	①エコドライブ	
			②日常・定期点検の実施	
			③省エネ車の導入を検討	
			④排ガス対応車の導入を検討	
LPG	湯沸器	青嶋	①無駄な使用の規制	
廃棄物のリサイクル	事務所		青嶋	①コピー用紙の両面使用
				②集約化購買
				③3Rの実践
				④廃棄物の分別とリサイクル
産業廃棄物 一般廃棄物		宗野		①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別化
				②処理業者の新規開拓
節水	上水		宗野	①節水表示・意識づけ
グリーン購入	事務用品		青嶋	①環境ラベル対応品の購入
	②何回も使える物購入			
	用具・器具		山本	①環境ラベル登録品の購入
環境に配慮した自社の取り組み			石垣	①分別方法を示した表示
				②全社員への教育
				③排出事業者に対して適正処理の推奨

VI 環境目標の実績

運用期間(4月～3月)実績

項目	単位	2014年実績	2016年目標	2016年実績	達成率	評価	
		4月～3月	4月～3月	4月～3月			
二酸化炭素	kg-CO ₂	74,300	72,071	66,801	92.7%	○	
内訳	購入電力	kWh	10,497	10,182	10,313	101.2%	×
	ガソリン	L	6,238	6,050	5,744	94.9%	○
	軽油	L	20,420	19,807	16,409	82.8%	○
	LPG	kg	281	272	187	68.7%	○
産業廃棄物処理量	t	1,680.3	1,730.7	1,110.6	64.1%	×	
事業所排出廃棄物量	t	未把握	5.6	1.8	32.1%	○	
水使用量	m ³	350	346	301	86.9%	○	
事務用品のグリーン購入金額	円	未把握	12,913	41,165	—	—	
グリーン購入の推進	品目数	—	配慮	配慮	—	—	
排出事業者への適正処理の推奨	件	未把握	1	1	100%	○	

※1 達成率＝2016年目標÷2016年実績(%)

※2 今期実績のみの項目は、次期以降では今期の実績を基にして目標を策定し、改善活動に取り組む計画です。

※3 グリーン購入の活動は定性目標とする

<原因分析・是正処理>

軽油	原因分析	冬場にかけて吸引車を多用する仕事が多かった為に燃料をかなり消費する事になってしまった。
	是正処置	エコドライブを心がけるようにしながら、なるべく車に負荷の掛からない様な作業方法を工夫、検討する。

Ⅶ 環境活動計画の取り組み結果とその評価、 次年度の取り組み内容

目的	項目	活動項目	評価		今後(次年度)の取組
			評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底(都度チェックする)	○	徹底されている	継続実施
	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	徹底されている	継続実施
		②クールビズ、ウォームビズ	○	徹底されている	継続実施
		③フィルター定期清掃	○	事務所のエアコンを新調する	継続実施
		④使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
		⑤遮光対策	○	事務所のブラインドを新調する	継続実施
	設備・他	①使用時以外はメイン電源OFF	○	徹底されている	継続実施
	乗用車・トラック	①エコドライブ	○	徹底されている	継続実施
		②日常・定期点検の実施	○	徹底されている	継続実施
		③省エネ車の導入を検討	×	入れ替えの予定がない	—
		④排ガス対応車の導入を検討	○	徹底されている	継続実施
湯沸	①無駄な使用を規制	○	徹底されている	継続実施	
廃棄物のリサイクル	事業所排出物	①コピー用紙の両面使用	○	徹底されている	継続実施
		②集約化購買	○	徹底されている	継続実施
		③3Rの実践	○	徹底されている	継続実施
		④廃棄物の分別とリサイクル	○	徹底されている	継続実施
	一般廃棄物	①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別化	○	徹底されている	継続実施
		③処理業者の新規開拓	○	有力な業者を2軒開拓	継続実施
節水	上水	①節水表示	△	新しい物に変える	継続実施
グリーン購入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	○	徹底されている	継続実施
		②何回も使える物購入	○	徹底されている	継続実施
備品	①環境ラベル登録品の購入	○	徹底されている	継続実施	
環境に配慮した自社		①分別方法を示した表示	○	徹底されている	継続実施
		②全社員への教育	○	徹底されている	継続実施
		③排出事業者に対してきせい			

IX 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者 石垣 一正

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (収集・運搬業者として)	廃棄物排出事業所との委託契約	契約(書)の締結	○
	マニフェストの管理	B2表、C2表、D票、E票の返却	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	マニフェストの管理	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	○
	マニフェストの年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	○
	許可と許可書の更新	5年間	○
同上 (排出事業者として)	廃棄物処分業者との委託契約	契約(書)の締結	○
	マニフェストの管理	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	マニフェストの年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	○
静岡県・静岡市産業廃棄物の適切な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
静岡市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		○
道路交通法	交通法規の遵守		○
	点検の実施		
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	該当なし
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	該当なし
環境基本法	一般的な自主努力		○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
フロン排出抑制法	自身での簡易定期点検	3ヶ月に1回以上	○

2. 違反、訴訟等の有無 ありません。

X 代表者による全体評価と見直し結果

作成 平成29年3月31日

1・見直し関連情報	項目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input type="checkbox"/>
	2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 購入電力使用量は前年実績を下回る事が出来たが、環境目標の数値は上回ってしまった。
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input type="checkbox"/>
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> フロン排出抑制法の遵守管理を実施
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 外部苦情・要望等は無し
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input type="checkbox"/>
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input type="checkbox"/>
	8	その他()	<input type="checkbox"/>

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>全体的に達成しているように見えるが細かい点でまだ取り組めるものもあるように思える。 全体としてシステムの有効性、取組の適切性、妥当性は有り判断できた。</p> <p>エコアクション21の取り組みも2年が経過しましたが、より一層環境活動計画に積極的に取り組んでいきます。環境方針や環境マネジメントシステムその他については、変更の必要性はないと思います。 引き続き目標を達成するよう環境活動計画等を見直すことを下記のような環境管理責任者に指示しました。</p> <p style="text-align: center;">平成29年3月31日 グリーン・シャワー株式会社 代表取締役 落合 弘子</p>		
	No.	見直し項目	変更の必要性
	1	環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無
	2	環境目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無
	3	環境活動計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無
	4	環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無
	5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無
6	その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	

緊急時対策

◆酸素欠乏症、硫化水素ガス中毒事故

- ・換気を継続していても危険状態になることがあるので、個々の作業員並びに監視人は常に異常の有無に注意し、発見した時は直ちに作業主任者に申し出る
- ・事故発生時は、慌てずに正しい処置をとり被害を最小限にとどめるようにする

周囲の状況を確認し、自己の安全を確認してから、直ちに傷病者を救出する



傷病者の呼吸が停止していたり、心臓が停止しているときは、119番通報する



同時に速やかに呼吸と心臓の鼓動を回復させる心肺蘇生などの処置を行う

